

道の駅 いとまん 【沖縄県糸満市】

道の駅いとまんは、「道の駅いとまん 情報館」、「糸満市物産センター 遊・食・来（ゆくら）」、「JA ファーマーズマーケットいとまん うまんちゅ市場」、「糸満漁業協同組合 お魚センター」、「障害者就労支援施設イノー」の5つの施設で構成されている。



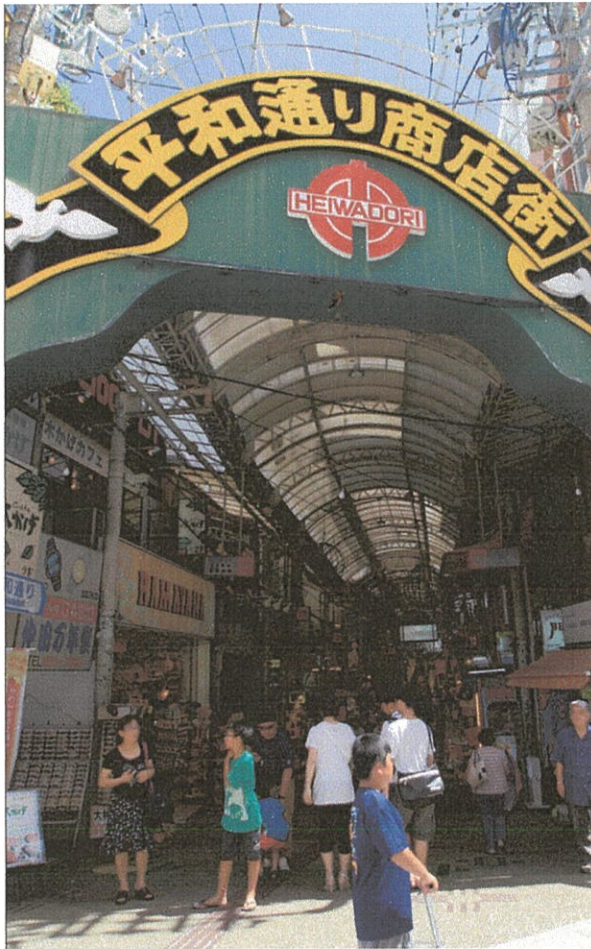
生鮮物から6次化商品まで品揃えが充実

年間約300万人のお客が訪れている。売上は年間約25億円。

お客様は、個人旅行から団体まで誘客

訪問したのは初めてであるが、年々充実していると聞き、勉強になった。

平和通り商店街 【沖縄県那覇市】



平和通りは、国際通り近くのアーケード街で、お土産屋や衣料店などがずらりと建ち並ぶ。

消費者側に立った物産の品揃えが充実。

地元物産が主流ではあるが、食品から衣類、装飾品、民芸品など充実

地元で揃えられない物産は、輸入しており商店街の方向性と意気込みを感じる。

働いている人は若者を多用している。宿泊所などの滞留型観光の仕組みを学びたいと感じた。



## HOTEL R9 The Yard 【沖縄県うるま市】



宿泊施設として十分な設備と機能を持ったコンテナホテル。

自治体との災害協定については、事業所と自治体相互確認により締結済み。

防災訓練については、まだ、計画段階で実施はしていない。

自主防災組織と協力協定を進めていきたいとのこと

沖縄県自体には、うるま市と宮古市にR9 ホテルが進出。今後の動向に注目したい。

自治体ごとに防災の方向性が違うので、情報収集と分析、そして活用が大事である。

うるま市は石油備蓄基地を始め、米軍基地などがあり財源が豊富である。

県の産業団地においては、6000 人の雇用を生み出しているが、産業誘致の宿泊が問題であり、課題であると言える。

観光誘客のためにもR9 ホテルの進出を歓迎している。

水俣も同様に宿泊場所が枯渇しており、R9 ホテル等の進出を願いたい。



うるま市役所



## 6 次産業化商品開発室（通称：6 次化ラボ） 【鹿児島県鹿児島市】

鹿児島市内産農林水産物を活用した付加価値の高い新商品開発に活用できる施設

行政の新しい取り組み

農業就労者が持続的に定住し、収入を上げるために、農業生産品に付加価値をつけ、加工を促進させる手助けを行政が行っている。

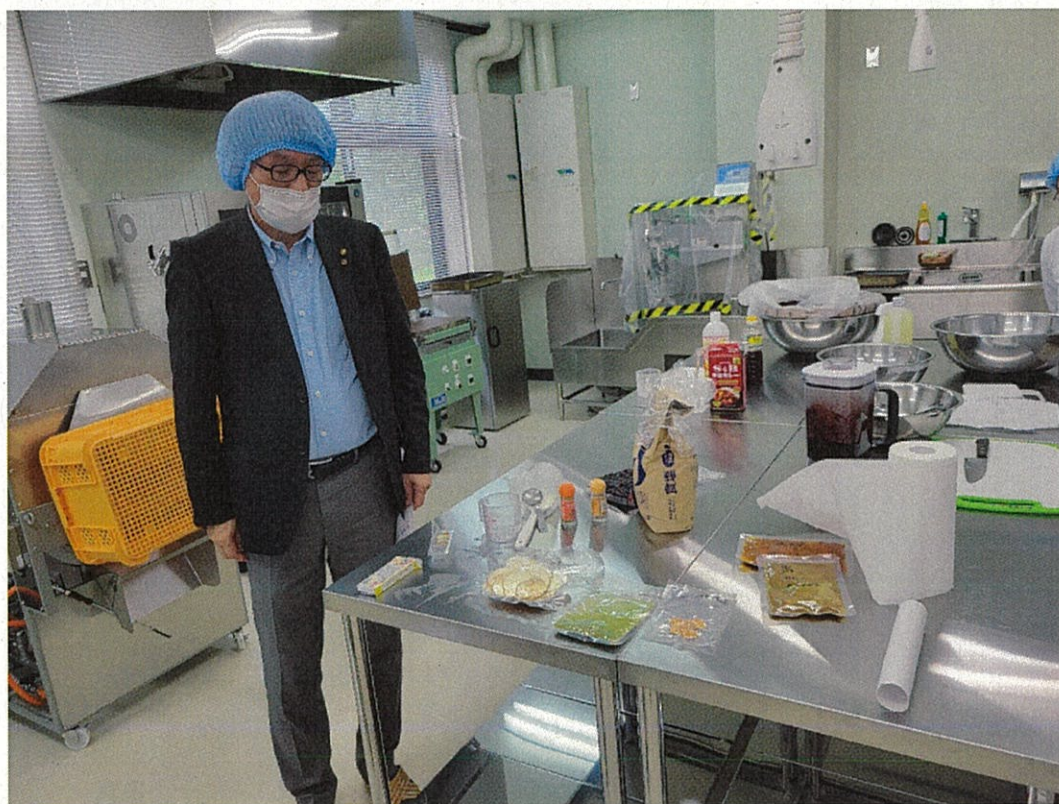
産物はあるが、活用計画、市場調査、加工品試作、販路まで J A が機能していない現状に行政が加工機械の提供とコンサル業務等を行っている画期的な取り組みである。

鹿児島市と 60 万人の人口がいる都市の財政事情と人材事情の基に、ダイナミックな行政福祉だと思う。

収入を上げることが後継者育成につながっている。大変勉強になりました。



鹿児島市6次産業化商品開発室（通称：6次化ラボ）





## 【伊佐市役所】

視察日 令和5年9月22日

### 里道等整備事業実施要項制定の経緯

里道、水路等の法定外公共物について、市民、地域自治体から多くの整備要望がある中、整備を進めていくうえでの基準がないことから、これらの要望に適切に対応し、市民の生活環境の改善向上に資するため要綱の制定を進めた。

### 制度の運用状況

制度制定以前は、人家連担部、生活環境改善が図られる箇所等において実施。

制度制定後は、2路線（里道整備1路線、側溝整備1路線）。

### 財源と予算

一般財源。予算は、前年度今年度ともに2,000万円。

主な材料費がコンクリート1㎡あたり26,000円

### 地域との連携

整備の要望は、個人ではなく、地域、自治会の要望として上げる。

### 整備後の維持管理体制

整備後の維持管理は、関係地域住民または関係自治会

### 事業における課題

整備要望が多いため、整備がなかなか進んでいかない。

整備予算が単独予算となるため、予算措置に苦慮していることから財政当局とも有利な補助事業、起債事業の該当がないか模索している。

用地については、無償譲渡となっているため、事業化までに時間を要する。

### （総括）

伊佐市は、地域の要望（特に5戸以上の集落）に対応している。自治会を通して要望を集め、連携を強化している。

要望は多く、優先順位をつけながら対応している。順番待ち状態。

コンクリートの費用が1㎡あたり26,000円と高いため、資金調達と予算配分は大きな課題となっている。

里道整備については、市町側に事業権が移っているが、予算等の補助がなく、独自予算で行わなくてはならず、予算確保が大きなネックとなっている。

水俣市より多額の予算を確保している。水俣市も頑張らなくてはいけない。

## 【出水市役所】

視察日 令和5年9月25日

### 里道等整備事業補助金交付要綱

主 管：道路河川課管理係

対 象：国から譲与を受けた青線/赤線、通り抜け可能な道、人家や事業所が2戸以上ある場合

補助率：第一段階75%、第二段階90%（第二段階条件：12時間で自動車交通量が80台以上）

財 源：75%の部分は100%一般財源。残りの25%は自治会等で負担

申 請：沿線の住民全員の同意が必要。持ち主不明の場合は法務局で確認

### 運用実績

令和5年度 2件の予定

令和4年度 1件 補助額121万円（75%補助）

令和3年度 3件 補助額540万円（405万円補助）

令和2年度 4件 補助額698万円（523万円補助）

### 里道等整備地域支援事業

対象：里道、市道、水道

補助内容：原材料や機械借り上げ料を30万円上限で補助。労務費は除外。ただし、令和4年度からオペレーター費用も対象。

運用実績：令和4年度350万円

実績：23件。主な事例は、砂利道部の路面の凸凹の整備、コンクリート等

### （総括）

両事業の主管課は同一であり、情報共有が容易。

水俣市も同様の事業を行っているが、主管課が異なる。これは補助の適用範囲が異なるためと考える。

事業課でワンストップサービスが出来ている。

問題を行政と自治会が共有することは、住民サービスにつながると思う。



## 岡山・大阪視察報告書

自民新未来 森川武治

日程 令和5年11月13日(月)～11月15日(水)

内容 ①スマート農業の推進について(岡山県新見市)

②商店街ホテル「SEKAI HOTEL 布施」について(大阪市足代)

③地域こども支援ネットワークについて(大阪市、大阪市社会福祉協議会)

### ① スマート農業の推進について(人口減少と高齢化による人手不足対策として)

岡山県新見市は面積793km<sup>2</sup>で、岡山県の11.2%を占めている。

また、新見市はうち森林が682.25km<sup>2</sup>で、全体の86%を占めていて、人口は令和5年3月末で約26,800人、高齢化率43%と水俣市に類似している。

[視察先に対する質問1]

・どのような補助があるか・

⇒ [質問1に対する回答]

・資格取得支援事業(ドローンの操作)

・機器購入支援事業

[視察先に対する質問2]

・リモコン草刈り機やドローン噴霧器は補助対象となるか

⇒ [質問2に対する回答]

・対象になる

[視察先に対する質問3]

・何人程度のグループで利用できるか

⇒ [質問3に対する回答]

・営農計画書を提出できる者として、個人に限定してなく、法人でも利用可能

[視察先に対する質問4]

・事業実施にあたり、NPO等設立しているか

⇒ [質問4に対する回答]

・特にない

### ② 商店街ホテル「SEKAI HOTEL 布施」

SEKAI HOTELは、まち全体を一つのホテルとして運営している。

アーケード内外の商店街を一つのホテルとして捉え、空きテナント等をリノベーションした宿泊施設があり、食事(夕食、朝食)は商店街の中の飲食店を利用するシステムとなっており、まちの日常を楽しめるようにしている。

③ 地域こども支援ネットワークについて（大阪市社会福祉協議会）

こどもを取り巻く課題において、政府が平成21年に初めて相対的貧困率を公表したことにより、見えない貧困層の存在が社会的に認知され、こども貧困問題に着目されるようになった。

大阪市社会福祉協議会では、食事や学習、体験学習などを通して大人や地域とつながることで、「みんなでこどもを育てる」社会を目指し、地域独自の活動として、定着・継続することを目標に、地域住民、社会福祉協議会、企業・団体等が一体となり、誰ひとり取り残されない地域づくりに取り組んでいる。

地域こども支援ネットワークの登録団体数は、平成30年度88団体から令和5年10月末現在で328団体と広がっている。